

旭西バイパス管築造詳細設計業務委託

特 記 仕 様 書

令和 7 年 6 月

岡山市下水道河川局

## 1. 適用範囲

この特記仕様書は、旭西バイパス管築造詳細設計業務委託（以下、本業務という。）に関する設計業務に対して適用するものとし、この特記仕様書に記載されていない事項はその他設計図書によるものとする。

## 2. 業務目的

現在、旧旭西処理区から児島湖流域関連処理区への接続管きょは背水を許容して接続されており、その大流量のために維持管理上支障をきたしている。これを解消するために汚水流下能力を補完するバイパス管を布設するために必要な詳細設計を行うことを本業務の目的とする。

## 3. 業務の対象

本業務における設計対象施設は、次表のとおりである。

表.1 設計対象施設（管渠）

主要な管渠の名称	管径・延長
旭西バイパス管	内径 900mm・1,668m 内径 500mm・24m

※上記の管径および延長は本業務において再度精査するものとする。

表.2 設計対象施設（分水施設）

主要な施設の名称	主要な設備
分水施設	・分水躯体 1 式 ・ゲート設備（可動堰） 1 門 ・付随する電気設備 1 式

※分水躯体、ゲート設備などの規格や仕様については本業務にて検討するものとする。

## 4. 業務内容

- ・旭西バイパス管の管径や管種、埋設ルート等の条件について過年度業務で検討を行っているが、本業務において収集した資料を基に改めて精査したうえで、必要な管きょおよびゲート設備（可動堰）の設計を行う。
- ・本業務の設計対象である管きょ施設については、『重要な幹線等』に該当するため、レベル 1 およびレベル 2 地震動について耐震設計を行う。
- ・管きょ布設工法については、施工可能な工法を抽出し各工法の特徴を整理したうえで比較検討を行い最適な工法を選定する。なお、シールド工法およびミニシールド工法については必要に応じて二次覆工有り、無し、省略型についても検討を行う。加えて、曲線部の地盤改良等が必要な場合は、必要な補助工法も含めて比較検討を行う。

- ・道路管理者より指示があった場合は管渠布設に伴う近接構造物への影響検討を行う。
- ・旭西排水センターについては現在、合流改善施設として運用されている。分水施設は当該施設内に配置する計画であるが、詳細な配置計画については当該施設の運用方法や今後の整備計画を把握したうえで、施工時に必要となる施工ヤードや排水管の接続替えなど必要な施設の検討を行い詳細な構造や配置計画を決定する。なお、分水施設については、硫化水素による腐食対策や臭気対策も含めた検討を行う。
- ・ゲート設備（可動堰）の設計にあたっては、現場条件や旭西バイパス管の運用方法等を考慮したうえで施設設計を行う。また、将来の設備の改築時の施工計画についても考慮した施設計画とする。
- ・旭西バイパス管へ流入する汚水量を計測できるよう流量計の仕様や設置方法に係る検討を行う。
- ・本業務の設計対象施設については、市道・県道・国道・用水路・旭西排水センター内への占用が必要となることから、各占用管理者との協議や占用申請に必要な資料について監督員の指示に従い作成する。
- ・旭西バイパス管の最上流部および最下流部は供用中の污水管への接続が必要である。したがって、施工時の作業員の安全性や汚水の溢水への対策を講じた適切な仮設計画を検討する。